

皆様 お元気ですか サッカー・ワールドカップ 日本代表はドイツとスペインに勝っただけでも今回の成果は歴史的活躍と言えると思います。開催期間中、観戦の為休暇を取得するドイツ人も珍しくなく、オフィスではテレビ持ち込み、仕事中的ながら観戦 OK などサッカーが国技のようなドイツです。面白いのは先日の日本戦のようにドイツが負けた日、街はシーンと静かです。外出中でも試合終了時刻になるとこれで結果が判るのです。オフサイド判定に大活躍の VAR ですが、今回のボールには加速度、位置などを検出するセンサーが組み込まれていて、日本の会社も生産開発に関わっているそうです。

勝てばあちこちで歓声が聞こえ、交差点では車がクラクションで答えます。それが無い？つまり負けです。翌日、学校や職場でも昨日の試合結果の話はしません。ドイツが負けた試合は SF のパラレルワールドのように別の地球の出来事になるのです。前回予選リーグに敗退した時のドイツも同様でした。黒歴史でなく、歴史は無かったことになるのです。2022 年ワールドカップはドイツには既に存在しないのです。

今月はかなり以前に一度取り上げたテーマですが、二年間コロナ禍で中止されていたクリスマスマーケットが 3 年振りにドイツ各地で開催されていますのでこちらをレポートしたいと思います。

例年 12 月 23 日を最終日とするその前 4 週間が開催期間ですが、密を避ける為各地で 1-2 週間早く開始され、多くの都市で 11 月中旬から開催されています。

WIKKI によりますと私の住むフランクフルトのクリスマスマーケットは 1393 年から開催される世界最古の開始記録を誇るそうです。日本でもニュルンベルグのクリスマスマーケットが有名ですが、他にシュトゥットガルト、ドレスデンが現在の三大クリスマスマーケットだそうです。

クリスマス、年越しに備えて必要な物を持ち寄って交換した、というのが中世に始まるクリスマスマーケット発祥の起源とされていますが、今日のそれは移動遊園地や屋台で売られるホットワインやソーセージを楽しむ冬の娯楽イベントとしてドイツ人だけでなく、国外からも観光客を集めています。理由は関係なく、初詣で賑わう日本の神社仏閣とその縁日の風景と雰囲気は全く同じです。

以前英国ロンドンでもクリスマスマーケットが開催されていたところを訪問しました。面白かったのはドイツ語の Weihnachtsmarkt、Wurst, Glühwein, Bier (バイナハツマルクト, ブルスト, グリューワイン, ビール) それぞれクリスマスマーケット、ソーセージ、ホットワイン、ビールといった意味のドイツ語がそのまま使われていてクリスマスマーケットはドイツ発祥なのだ実感した次第です。日本でも前回ご報告のオクトーバーフェスト同様ドイツ語で開催されているところがあるかもしれません。

以下は一部前回レポートの引用ですが、加筆して新しい読者さんの為再録いたします。

ゲルマン人達はキリスト教を受け入れる以前から、新年を祝う行事として互いに贈り物をする習慣がありました。冬の終わる冬至の日のころまでに、森の木のもとにお互いのプレゼントを託しました。どの木のもとに託せばいいか、誰でもすぐ判るようにその木に飾りつけをしたのです。そんなゲルマン由来の風習とキリストの生誕のお祝いを融合させたの

がクリスマスです。クリスマスツリーの飾り付けの起源です。

職場ではこんな粋なこともします。

各自 20 ユーロ (2500 円程度) のプレゼントを用意します。送る側は予め相手の名前を知らされます。なるべくふさわしい、喜んでもらえるプレゼントが届く為ですね。ただ送られた側は誰からのプレゼントか判らないという次第です。シークレットサンタというプレゼント交換です。

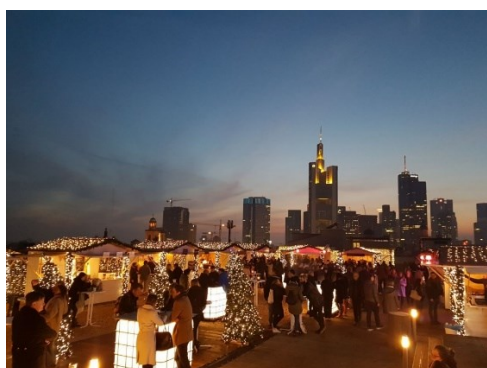
12 月 25 日/26 日はドイツでは祭日です。街は静かで、日本の正月三が日と似ています。12 月 24 日と 31 日は殆どの会社や商店が 14 時までの営業です。事務系であれば、今年の場合 12 月 21 日から休暇を取る方が多く、欧州とのビジネスの場合、12 月後半は、ほとんど話は進まないと覚悟しなければなりません。

31 日/1 日、12 時になると街中で花火を打ち上げます。最初の 15 分くらいは綺麗にみられるのですがだんだん煙がたって音だけになってしまいます。

1 月 2 日以降はすべては平常営業になります。

コロナ禍の二年間、花火も禁止でした。今年はいかがでしょうか？

子供のころ両親からクリスマスプレゼント貰うとき、世の中にはプレゼントを貰えない子も沢山いるのですよ、そんな子達のこととも思いやれる人になるのですよ、と言われたことを毎年何歳になっても考えます。私はそんな大人になれたのかなと。



クリスマスマーケットの夜景は綺麗ですね。



赤ワインをベースにしたホットワイン、さらにラム酒を追加したターボというバージョンもあり、その湯気だけでクラっとします。そんな1杯を飲めば寒さは吹っ飛び、楽しいひと時の始まりです。



2M くらいの豪快なグリルで焼かれるソーセージ 大人も楽しめる乗り物も沢山

以上 ドイツから